



♪ みんなにこにこ！笑顔でつながる おてつだい♪
チームみねっぴ～の とくべつしえんだより

「様々な感情を伴う経験」を「経験からの学び」に変えて…

～ それぞれ違う成長の歩幅に寄り添う中で、「大切にしたいこと」とは・・・ ～

校庭の樹々に春の訪れを感じる今日この頃。今年度も残りわずかとなりました。

学年末の学校では、子供たちの発達段階に応じ、次年度を意識した様々な準備を行っているところです。

子供たち一人一人が、今年度を振り返り、それぞれのよりよい学びにつながられますよう、引き続き、ご家庭と学校とで役割分担したり協力したりしてまいりましょう。子供たちとの振り返りでは、「様々な感情を伴う経験」に、どのような「価値付け」ができるかで、「経験からの学び」に変えることができます。

引き続き、子供たちが、それぞれ成長できる力を育めるよう、関わり手である私たち大人も、これまでの「経験からの学び」を次年度にいかしてまいりましょう。

今回ご紹介させていただく内容は、「ちょっとしたこと」を意識しながら取り組める内容です。様々な変化による不安な時期だからこそ、日常的な関わりに、さり気なく意識していただけましたら幸いです。

「ちょっとした関わり」の中の「大切にしたいこと」とは

興味関心や強みをいかせる機会を設け

「自分のよさに気付く経験」ができる関わり

自分を客観的に捉えることが難しい場合にも、子供が「自分のいいところ」に気が付き、自信をもってそのよさを伸ばしていけたらいいですね。「…はいいところだね。」「〇〇できるってすてきだね。」「〇〇をいかして〇〇できるってすごいね。」など、子供自身の自己理解につながる言葉掛けを意識してみましょう。

「小さな成功体験」をともに喜び合いなが

ら子供が自信をもつことができる関わり

将来、人とのつながり感のある社会生活ができるよう、子供のうちから、ともに喜び合える心地よさを十分に味わえる経験ができるといいですね。

子供たちにとってかけがえのない存在であるご家庭や友達や先生との関わりができる学校などで、「小さな成功体験」を実感できる機会を大切にしましょう。

困ったときには安心して助けを求めながら

「相談するよさを実感」できるような関わり

自立とは、何でも自分一人ですることができるようになることではありません。困ったときに、何をどうしてほしいのかなど、子供が言葉で助けを求められるよう、まずは大人が、「こんなときには、〇〇」など、状況に応じた伝え方の手本を示してみましょう。

えっと、あのね…。



大人こそ

「相談するよさ」で 支え合う関わり

子供たちを支えている私たち大人こそ、「困ったときには相談できる」という相談力を大切にしましょう。